



c.		
d.	b.	a.

a./ゲストも家族も集まってくるキッチン。壁は廃材を使ってアレンジ。b./大工さんをお願いしてつくってもらった丸窓。  
c./薪ストーブのある土間は夏涼しくて冬あたたかい。d./ゲストがくつろげる寝室とリビング。



name.

栗栖 伸明 さん  
真理子 さん

data.

- 施工期間：約1年半
- 経費：約500万円+薪ストーブ
- 築年数：約100年

この家は、「もう住む人はいないから取り壊そう  
と思っている」と紹介された物件でした。訪れてみ  
ると、車通りのある大きな道路から少し離れている  
ので静かだし、周りより一段高い位置から、田畑と  
山を眺められるので景色もいい。床も朽ちて、壁も  
崩れて、いわゆる「ボロボロ」の状態だったのですが、  
改修すればうまく使えそうだなと思って、購入を  
決めました。

改修を始めるにあたって、近くのアパートを借り  
ました。夫が一人で通って、使えそうにない部分を  
壊すところから始めたんです。前に自分の店の内  
装をいじった経験があったので、やり方は想像でき  
る。あとは作業をしながら考えればいかなど。思  
い切って壁を抜いて、壊れている部分は取り払って  
；でも途中で気づいたんです。一人じゃ無理だ、大  
工さんが必要だ（笑）。すぐに近所の大工さんに  
相談して来てもらいました。

まずは壊してみる、というスタートは、結果的にア  
イデアが広がって良かったです。もともと玄関と洋  
室だったところは、靴を履いたままでもくつろげる  
ように、コンクリートを打って土間に。出窓のあった  
スペースを利用して薪ストーブとテーブルも置きま  
した。それから、土間からの眺めにもこだわりました。  
一段上がって和室があって、奥に丸い窓から光が  
差すといいじゃないですか。

「これは譲れない！」と決めていたのは、アイラン  
ドキッチンです。この家では、お客さんと一緒に過ご  
すシェア型の宿を営んでいます。畑でとれた野菜を  
使って、お客さんと一緒に料理をつくったり、話をし  
ながら食事を囲んだりしたくて。そのために、壁側  
のコンロや作業台の配置を考えて、窓の大きさや換  
気扇の位置も変えました。目に入る側面のタイル  
の柄は、自分達で探し出してきたお気に入りです。  
電気の配線を考えるのも重要ですね。土壁には線  
が通せないで、壁をつくって隠しました。

細かいところまでこだわることができたのは、一  
緒に話し合っていて進めている大工さんがいてくれ  
たからです。当初の計画と全然違う結果になりました  
が、後悔はありません。一度で全部をやるうとせ  
ず、色んな知恵のある人に関わってもらって、アイデ  
アを出し合うとうまくいくんだなとわかりました。  
今後は、土間にタイルを貼ってホテルのロビーのよう  
にしたり、窓を木枠のものに変えたりしたいと思っ  
ています。壊れていても手を加えて直せば、意外と  
楽しめるものですね。

所有  
物件

AKITAKATURNS FILE.

01

取り壊し予定の家をリノベーション  
ゲストと一緒に食卓を囲む シェア型の宿に

AKITAKATURNS  
FILE.

01

